

【第三种郵便物認可】

# インテリ トレンドおもて裏

「最近家庭に友人を招いてパーティーを開く人が増えてきました。着飾って外で緊張して食事をするよりも、親しく会話を楽しみ

マニアと素人に分化  
—ホームパーティーなどを通じてワインの飲み方を教えていま

秋が深まり、ボジョレ・ヌーボーの季節。日本でもワイン市場が年々拡大している。しかし欧米に比べて絶対的な消費量はまだまだ少ない。もっと気軽に楽しむために必要な条件は何か。家庭をこへの普及に力を入れているワインコーディネーターの友田晶子さん（日本ソムリエ協会会員）に聞いた。

ワインコーディネーター 友田 晶子さん

## 「気軽なワインの楽しみ方」



### 自分の好みを基準に 選択の幅を広げて

たいといわね。特に女性の集まりが盛んで、そんな場を利用してワインについて話しています。ワインを飲んでる方は多いのですが、楽しみ方を知っておられる人は少ないですね。

品は頂点が千円クラスの底辺の消費が伸びていますが中間が薄い。マニアと素人に極端に分化しています。知っている人は結構、おんちんを傾け、それがエライと思われています。もっと自然に楽しむべきだと思います。ワイン学校も人気を呼んでいますが、専門的すぎる授業が多いのは残念なところです。食事や会話が主役で、ワ

インは手役なのです。それだけ飲めれば自分の中に味の基準ができます。色々ものを飲んでも、銘柄を忘れるだけ。自分の基準をもとに料理の種類に応じて選択してあげたいのです。七、八割の人は最初、自分が好きですが、フルティーなものからさっぱりした辛口へ、そして飲みのある赤へ進むことになろうかと思えます。

「日本のワイン消費のスタイルをどう見ているか。」「ロマネコンティなどの超高級品は数多くありますが、そういう物はあまりありません。特に外国のビジネスマンと食事をする機会が多い人は困っているようで、企業が社員教育の場でワイン講習会を開くケースも増えてます。一般常識としてワインの嗜愛しなみ方を心得ておきたいということも思っています。」

「ロマネコンティなどの超高級品は数多くありますが、そういう物はあまりありません。特に外国のビジネスマンと食事をする機会が多い人は困っているようで、企業が社員教育の場でワイン講習会を開くケースも増えてます。一般常識としてワインの嗜愛しなみ方を心得ておきたいということも思っています。」

「ロマネコンティなどの超高級品は数多くありますが、そういう物はあまりありません。特に外国のビジネスマンと食事をする機会が多い人は困っているようで、企業が社員教育の場でワイン講習会を開くケースも増えてます。一般常識としてワインの嗜愛しなみ方を心得ておきたいということも思っています。」

「ロマネコンティなどの超高級品は数多くありますが、そういう物はあまりありません。特に外国のビジネスマンと食事をする機会が多い人は困っているようで、企業が社員教育の場でワイン講習会を開くケースも増えてます。一般常識としてワインの嗜愛しなみ方を心得ておきたいということも思っています。」

「ロマネコンティなどの超高級品は数多くありますが、そういう物はあまりありません。特に外国のビジネスマンと食事をする機会が多い人は困っているようで、企業が社員教育の場でワイン講習会を開くケースも増えてます。一般常識としてワインの嗜愛しなみ方を心得ておきたいということも思っています。」

「ロマネコンティなどの超高級品は数多くありますが、そういう物はあまりありません。特に外国のビジネスマンと食事をする機会が多い人は困っているようで、企業が社員教育の場でワイン講習会を開くケースも増えてます。一般常識としてワインの嗜愛しなみ方を心得ておきたいということも思っています。」

「ロマネコンティなどの超高級品は数多くありますが、そういう物はあまりありません。特に外国のビジネスマンと食事をする機会が多い人は困っているようで、企業が社員教育の場でワイン講習会を開くケースも増えてます。一般常識としてワインの嗜愛しなみ方を心得ておきたいということも思っています。」

「ロマネコンティなどの超高級品は数多くありますが、そういう物はあまりありません。特に外国のビジネスマンと食事をする機会が多い人は困っているようで、企業が社員教育の場でワイン講習会を開くケースも増えてます。一般常識としてワインの嗜愛しなみ方を心得ておきたいということも思っています。」

常識的な視点を重視  
友田さんは主に女性向け雑誌のコラムでワインのホームパーティーを呼び掛け、会場でワイン消費の現場で育ったことが反響を中心にお酒の楽しみ方を講習している。テ

「ロマネコンティなどの超高級品は数多くありますが、そういう物はあまりありません。特に外国のビジネスマンと食事をする機会が多い人は困っているようで、企業が社員教育の場でワイン講習会を開くケースも増えてます。一般常識としてワインの嗜愛しなみ方を心得ておきたいということも思っています。」

田仲 和彦